令和６年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人とおの松寿会

目　　次

【１】社会福祉法人とおの松寿会活動状況の総括・・・・・・・・・・・・・・・１

【２】社会福祉法人とおの松寿会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・２～11

【３】特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（長期入所）・・・・・・・・・・12～19

【４】特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（短期入所）・・・・・・・・・・20～23

【５】老人デイサービスセンター長寿園・・・・・・・・・・・・・・・・24～26

【６】居宅介護サポートセンター長寿園・・・・・・・・・・・・・・・・27～29

【７】生活支援ハウス長寿園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30～31

【８】養護老人ホーム長寿の森吉祥園・・・・・・・・・・・・・・・・・32～38

【９】デイサービスセンター長寿の森踊鹿・・・・・・・・・・・・・・・39～41

【10】ヘルパーステーション長寿の森・・・・・・・・・・・・・・・・・42～44

【11】小規模多機能型居宅介護事業所長寿庵・・・・・・・・・・・・・・45～49

【12】法人事務部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50

【13】経営改革室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51～52

【１】社会福祉法人とおの松寿会活動状況の総括

令和６年度、新型コロナウイルス感染症対策は、５類感染症に移行して１年が経過し、コロナ対応に係る行政の各種支援、臨時的な取り扱いは終了という節目を迎え通常対応になった。また介護報酬が改定され、全体の改定率はプラス 1.59%、そのほか処遇改善加算の一本化や入所系サービスの居住費の「基準費用額」が 0.45%、合わせて 2.04%が引き上げられた。

とおの松寿会は設立 24 年目（遠野長寿の郷 23 年目、長寿の森 21 年目、長寿庵 18 年目）を迎え、第四期中長期計画の確実な執行と制度改正に適応しながら事業経営を進めた。

財務状況としては、在宅系サービスは利用者の要介護度の軽度化と稼働率の低調、入所系サービスはコロナ感染症の影響による稼働率の低下、またコロナ補助金等が削減されるなどマイナス要因が重なったものの介護報酬のプラス改定が手伝って昨年比でサービス活動収益が約 2,500 千円の増加となった。

費用については、止まらないエネルギー価格の上昇と物価高騰、職員給与のベースアップによる人件費上昇などで昨年比約 43,400 千円増え結果、増収減益となった。

運営については、各拠点において新たに生産性向上委員会を組織し、介護現場のムリ・ムダ・ムラの検討や業務の見える化による改善、デジタル機器の導入などによる業務の効率化を図り、利用者と関わる時間を増やし、利用者満足度の向上と職員の業務負担の軽減に取り組んだ。

また、不適切ケア・虐待防止対策として、リスクマネジメント委員会を中心に指針の周知や研修会の開催、「虐待の芽チェックリスト」を活用した職員の意識高揚を図る取り組みを行った。

人材確保対策としては、介護職員等処遇改善加算を原資とした全職員の手当や賞与を含む平均給与月額は昨年比で 4.5%（10,716 円）の実感のある賃上げによる処遇改善を行い職員の働きがいの向上と雇用の安定化を図った。また、人財育成基本方針を策定し、(1) キャリアパス制度の運用、(2) 個別研修計画による計画的な育成、(3) 定期的な 1on1 による育成サポートの実施で職員の育成と定着に取り組むとともに、今後 10 年間を見据え「人員計画」を策定し人材確保の戦略と計画を明確にした。これらの取り組みより離職率が昨年の 12.35%から 5.99%と 6.36 ポイント改善した。また、外国人技能実習生の２名の受入れを初めて行った。

設備投資としては、遠野長寿の郷では、利用者の入浴サービスの質の向上と入浴業務の効率化を図るため１階と２階の特殊浴槽入替え工事を行った。また長寿の森吉祥園では、夏の猛暑対策のため全居室にエアコンを設置した。いずれも補助金を活用して行った。

最後に、全事業所において共通した課題があげられる。一つは、稼働率や収入額などの数値目標が未達成であること。その原因をしっかり検証し、適切な対策を講じながら収益を向上し、事業の持続可能性を高める必要がある。もう一つは、さらなる介護現場の効率化と生産性向上による職員数を適正化すること。人材確保は年々厳しさを増している中、DX 化を推進すると同時に限られた職員数で質の高い介護サービスを提供する仕組みづくりが必要である。

【２】社会福祉法人とおの松寿会の概要

１　法人の概要

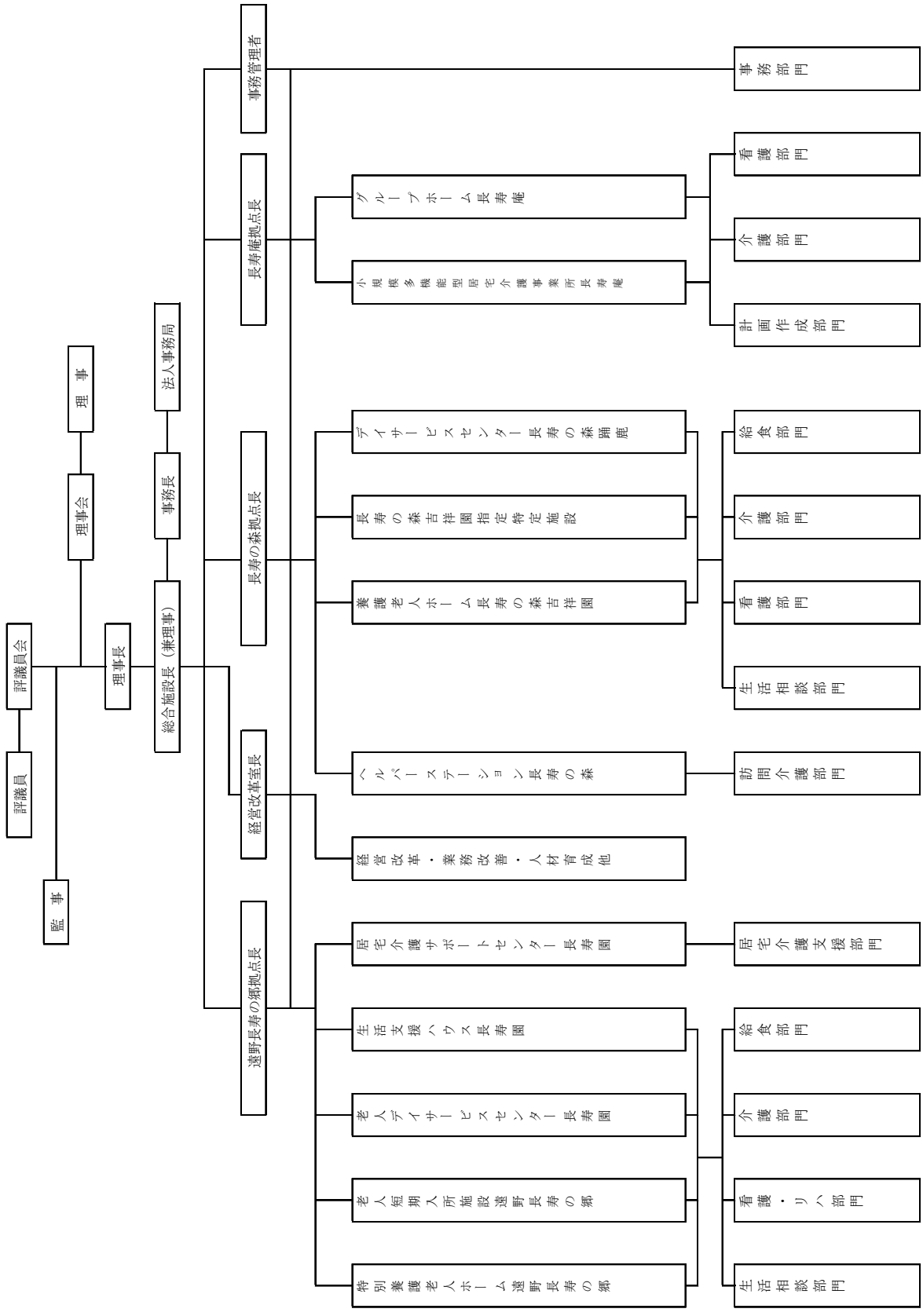
主たる事務所の所在地	岩手県遠野市松崎町白岩 18 地割７番地		
法　人　の　名　称	社会福祉法人とおの松寿会		
代 表 者 職 氏 名	理事長 小 時 田　繁（おときだ　しげる）		
設 立 許 可 年 月 日	平成 13 年３月 13 日	設　立　年　月　日	平成 13 年３月 23 日

２　役員等の状況

令和７年３月 31 日現在

氏　名	就任年月日	職 業 等	氏　名	就任年月日	職 業 等
理　事（ 定数６名、現任数６名、欠員０名 ）					
小時田　繁	R5.6.23	会社役員	立 花 敬 三	R5.6.23	会社役員
菊 池 照 夫	R5.6.23	会社役員	千 葉 純 子	R5.6.23	開業医
松 田　孝	R5.6.23	会社役員	菊 池 浩 之	R5.6.23	施設長
監　事（ 定数２名、現任数２名、欠員０名 ）					
菊　池　清	R5.6.23	民生児童委員	琴 畑 錦 一	R5.10.10	民生児童委員
評議員（ 定数７名、現任数７名、欠員０名 ）					
田 中 昭 彦	R3.6.24	歯科医師会	村 上 俊 市	R3.6.24	松崎町 第８区自治会長
米 田 昭 子	R3.6.24	前第三者委員	小 向 浩 人	R3.6.24	長寿の郷家族会
鈴 木 行 雄	R3.6.24	民生児童委員	正 部 家 孝 枝	R3.6.24	松崎町代表
菊 池 よ し	R5.5.25	前法人事務員			

3　社会福祉法人とおの松寿会運営組織



４　令和６年度理事会・評議員会の開催状況

〔理　事　会〕

第１回定例理事会

令和６年６月７日

議案第１号　令和５年度事業報告について
議案第２号　令和５年度決算の承認について
（監 査 報 告）
議案第３号　会計監査人の設置配置に伴う定款変更について
議案第４号　評議員会運営規程の変更について
議案第５号　理事会運営規程の変更について
議案第６号　監事監査実施規程の変更について
議案第７号　経理規程の変更について
議案第８号　理事の職務権限規程の変更について
議案第９号　令和６年度第１次補正予算（案）について
議案第 10 号　工事請負契約について
議案第 11 号　職員給与及び退職金規則の変更について
議案第 12 号　職員研修助成要領の変更について
議案第 13 号　施設運営規程の変更について
議案第 14 号　定時評議員会の招集について

第１回臨時理事会

令和６年 11 月１日

議案第 15 号　運営組織体制の一部変更について
議案第 16 号　管理者の選任及び解任について
議案第 17 号　法人設立寄付者の芳名パネルの設置について

第２回定例理事会

令和７年３月 21 日

議案第 18 号　令和６年度第２次補正予算（案）について
議案第 19 号　令和７年度事業計画（案）について
議案第 20 号　令和７年度予算（案）について
議案第 21 号　評議員選任・解任委員の選任について
議案第 22 号　次期評議員候補者の決定について
議案第 23 号　育児介護休業に関する規則の変更について
議案第 24 号　グループホーム長寿庵運営規程の変更について
議案第 25 号　評議員選任・解任委員会の招集について

〔評 議 員 会〕

定時評議員会

令和６年６月 26 日

議案第１号　令和５年度決算の承認について

（監 査 報 告）

議案第２号　定款の変更について

報　　告　令和５年度事業報告について

臨時評議員会

令和５年 10 月 10 日

議案第４号　補欠監事の選任について

5　法人の運営状況

(1) 職員採用について

６年度職員採用・退職状況

採　　用	新　　卒	介護職員　　２ 人
	中　　途	介護職員 17 人　　看護職員　２人　　生活相談員　０人 介護支援専門員　０人　（管理）栄養士　１人 機能訓練指導員　０人　　事務員　０人　　調理員 ０人
退　　職		介護職員　９人　　看護職員　３人　　生活相談員　１人 介護支援専門員　０人　　（管理） 栄養士 ０人 機能訓練指導員 ０人　　事務員　０人　　調理員 ０人

(2) 社会福祉関係の専門資格取得に関して

社会福祉・介護関係有資格者数（令和７年３月 31 日現在）

社会福祉士	３名
介護支援専門員	18 名
社会福祉主事	30 名
介護福祉士	87 名
ヘルパー１級	５名
ヘルパー２級・介護職員初任者研修	74 名
看護師	７名
准看護師	８名
作業療法士	３名
按摩・マッサージ・指圧・針灸師	０名
管理栄養士	１名
栄養士	３名

※複数の資格を有する者あり

(4) 運営事業

介護保険事業

事業等の名称	事業の概要	事業開始年月日	備　考
●介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 （岩手県指定）	入所定員 64 名 ユニット型居室　64 室 第 0370800153 号	●平成 14 年 3 月 20 日	平成 27 年 3 月 20 日に従来型多床室と分離
●介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（従来型） （岩手県指定）	入所定員 36 名 居室　12 室（2 人部屋：4 室、 3 人部屋：4 室、 4 人部屋：4 室） 第 0370800476 号	●平成 27 年 3 月 20 日	平成 27 年 3 月 20 日にユニット型個室と分離

●短期入所生活介護事業 ●介護予防短期入所生活介護事業 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 （岩手県指定）	入所定員 23 名（併設型） 居室　17 室（個室：14 室、 3 人部屋：3 室） 第 0370800161 号	●平成 14 年 3 月 20 日 ●平成 18 年 4 月 1 日	
●短期入所生活介護事業 ●介護予防短期入所生活介護事業 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（空床利用型） （岩手県指定）	入所定員 64 名（併設型） ユニット型居室　64 室 第 0370800484 号	●平成 27 年 3 月 20 日 ●平成 27 年 3 月 20 日	
●通所介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第１号通所事業（通所介護相当サービス） 老人デイサービスセンター長寿園 （岩手県・遠野市指定）	利用定員 25 名（併設・一般型） 基本サービス　6～7 時間　1 単位 通常のｻｰﾋﾞｽ提供区域：旧遠野市の区域 第 0370800179 号	●平成 14 年 3 月 20 日 ●平成 18 年 4 月 1 日 ●平成 29 年 4 月 1 日	
●通所介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第１号通所事業（通所介護相当サービス） デイサービスセンター長寿の森 踊鹿 （岩手県・遠野市指定）	利用定員 30 名（併設・一般型） 基本サービス　6～7 時間　1 単位 通常のｻｰﾋﾞｽ提供区域：旧遠野市の区域 第 0370800237 号	●平成 16 年 4 月 1 日 ●平成 18 年 4 月 1 日 ●平成 29 年 4 月 1 日	平成 21 年 7 月 1 日利用定員を 30 名から 35 名に変更 平成 30 年 4 月 1 日利用定員 35 名から 30 名に変更
●居宅介護支援事業 居宅介護サポートセンター長寿園 （岩手県指定　）	介護支援専門員 4 名 通常のｻｰﾋﾞｽ提供区域：旧遠野市の区域 第 0370800187 号	●平成 14 年 3 月 20 日	
●特定施設入居者生活介護事業 養護老人ホーム長寿の森吉祥園指定特定施設	入所定員 50 名 居室　28 室（個室：6 室、 2 人部屋：22 室） 第 0370800294 号	●平成 18 年 10 月 1 日	

（岩手県指定）			
●訪問介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第１号訪問事業（訪問介護相当サービス） ヘルパーステーション長寿の森 （岩手県・遠野市指定）	通常のｻｰﾋﾞｽ提供区域：旧遠野市の区域 第 0370800286 号	●平成 18 年 10 月 1 日 ●平成 18 年 10 月 1 日 ●平成 29 年 4 月 1 日	
●小規模多機能型居宅介護事業 ●介護予防小規模多機能型居宅介護事業 小規模多機能型居宅介護事業所 長寿庵 （遠野市指定）	登録定員 29 名 通い定員 15 名 泊り定員 9 名 居室 9 室（個室：5 室、 個室以外の宿泊室：4 室） 第 0390800027 号	●平成 19 年 5 月 10 日 ●平成 19 年 5 月 10 日	平成 27 年 4 月 1 日登録定員を 25 名から 29 名に変更
●認知症対応型共同生活介護事業 ●介護予防認知症対応型共同生活介護事業 グループホーム長寿庵 （遠野市指定）	入所定員 9 名 居室 9 室（個室：9 室） 第 0390800043 号	●平成 19 年 5 月 10 日 ●平成 19 年 5 月 10 日	令和２年２月から休止

措置・受託事業

事業等の名称	事業の概要	事業開始年月日	備　考
●養護老人ホーム事業 養護老人ホーム長寿の森 吉祥園 （遠野市措置）	入所定員 50 名 ｼｮｰﾄ定員 2 名（遠野市生活管理短期宿泊事業） 居室 29 室（個室：6 室、 2 人部屋：22 室、 ｼｮｰﾄ 2 人部屋：1 室）	●平成 16 年 4 月 1 日	
●生活支援ハウス事業 生活支援ハウス長寿園 （遠野市受託）	利用定員 10 名 居室 9 室（個室：8 室、 2 人部屋：1 室）	●平成 14 年 4 月 1 日 ●平成 21 年 4 月 1 日	遠野市より受託 委託契約更新

●生活管理指導短期宿泊事業 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 （遠野市受託）	遠野長寿の郷の空床を利用	●平成 14 年 10 月 1 日 ●平成 21 年 4 月 1 日	遠野市より受託 委託契約更新

（5）職員体制（令和７年３月 31 日現在）

①長寿の郷及び長寿園の職員数

施設区分	遠野長寿の郷		長　寿　園			合　計
	長期入所	ショートステイ	老人デイサービス	生活支援ハウス	居宅介護サポート	
常勤職員	59	11	9	2	3	84
内、臨時職員	1	1	1	0	0	3
非常勤職員（ﾊﾟｰﾄ）	14	2	1	0	0	17
嘱託職員（含 嘱託医）	3	1	0	0	0	4
合　　計	76	14	10	2	3	105

②長寿の森の職員数

施 設 区 分	吉　祥　園	デイサービス 踊　鹿	ヘルパー ステーション	合　　計
常勤職員	17	8	7	32
内、臨時職員	0	1	0	1
非常勤職員（ﾊﾟｰﾄ）	8	4	4	16
嘱託職員（含 嘱託医）	0	1	0	1
合　　計	25	13	11	49

③長寿庵の職員数

施 設 区 分	小規模多機能型居宅介護	グループホーム	合　　計
常勤職員	10	0	10
内、臨時職員	1	0	1
非常勤職員（ﾊﾟｰﾄ）	4	0	4
嘱託職員	2	0	2
合　　計	16	0	16

(6) 社会福祉法人とおの松寿会の動き

令和６年		概　　況
4	1	令和６年度辞令交付式
	１～５	新採用研修会
	5	法人全体会議（事業計画周知、勤続職員表彰）
	15・16	職員定期健康診断
	19	職員会主催新人歓迎会（あえりあ遠野）
	25	遠野市社会福祉法人等連絡会設立総会（理事長・事務長出席）
5	15	監事下半期出納調査及び決算監査
	16	とおの就職ガイダンスに出展
6	5	法人全体会議（事業報告）
	7	定例理事会
	26	定時評議員会
	28	遠野長寿の郷家族会総会
7	1	第三者委員への苦情報告会
	27	遠野長寿の郷夏まつり
8	3	長寿の森吉祥園夏まつり
	27	令和７年３月卒業予定新卒者採用試験
9	2	辞令交付式（技能実習生等）
	3	消防モデル事業所避難訓練（遠野長寿の郷）
	14	遠野長寿の郷敬老会
	26	長寿の森吉祥園、長寿庵敬老会
10	２～４	中途採用者研修会
	5	遠野長寿の郷家族会清掃活動
11	1	臨時理事会
	5	法人全体会議コロナ拡大により中止
	16～17	遠野しごと展出展
	27	監事上半期出納調査及び監査
12	12	職員会主催忘年会（あえりあ遠野中ホール）
令和７年		概　　況
1	6	仕事始め式、新春祈祷
3	21	定例理事会

６　令和５年度寄付者御芳名（法人・施設受付分）

【個人】

遠野長寿の郷

　７月 23 日　遠野市　匿名希望　　現金 394,710 円

【３】特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（長期入所）

１　実践目標

・サービスの質の向上と利用者・家族の満足向上
・数値目標　96%以上　（年間収入目標　498,000,00 円以上）

２　実践目標の達成状況及び成果

実践目標は、サービスの質の向上と利用者・家族の満足向上、数値目標 96%を掲げました。令和 5 年度に続き、令和 6 年度も 3 度の新型コロナ感染症が発生しました。4 月、2 月は最小限にとどまりましたが、10 月下旬から 11 月下旬にかけて、長寿の郷内でクラスターとなりました。職員 16 名、利用者 50 名程罹患しました。罹患した利用者様によってはその後、ADL が低下された方がおり、感染症の脅威を感じました。令和 7 年 1 月には新型コロナ感染症以来、初めてのインフルエンザ A 型も職員や利用者様の感染がみられましたが、長寿の郷内に広がることなく、1 ユニットで収束することができました。感染症対策の中で、感染者が出た際は、手洗いやうがいの他に、N91 マスクを早期に使用することで、職員の罹患を減らすことに繋がったケースもあり、今後に活かしていきます。

看取り介護については、契約解除を含めて退所は 36 名の内、17 名の利用者様が看取り介護にて逝去しました。体調不良や持病などで、ADL が低下して、医師よりこれ以上治療がない利用者様は終末期になっていき、看取り介護の対応となります。しかしながら、ご家族様の意向により、継続して治療を望まれる場合もあります。日増しに変化する利用者様の状態にご家族の方々は思い通りにならなかったり、精神的にも苦痛を感じるなど悩まれることも多かったです。そんな時には、家族の皆様と話し合いを重ねたり、医師や看護・介護・相談など多職種で支援しながら家族の皆様の思いに寄り添いサポートしてきました。

不適切ケアについて、昨年は安心・安全な介護のための 60 のルールや虐待の芽チェックリストを使用して、2 カ月おきに用紙に評価する取り組み行うが、会議などで周知不足や評価が適切に行われているか不明な点がありました。来年度は Google フォームを使用して、2 カ月に評価して、各町にごとに振り返りできればと思っています。

看護部門は体調不良者がいる際、嘱託医に早期に相談、対応することにより夜間の緊急受診が減り、利用者様への早期の対応、看護職員の負担軽減に繋がりました。

レク活動では偶数月に輪投げ大会やマーブリング行事など行い、1 月の小正月には、餅つき大会を行い、杵を持ち利用者様に実際に餅をつきました。レク活動に参加された利用者様は笑顔がみられて楽しまれていました。

稼働率の 96%の達成は年間 3 回、他月は 95%を下回りました。要因として、新型コロナ感染症による入院、誤嚥性肺炎や持病（心不全）などで入院、看取り介護にて逝去、入院中による逝去が続きました。逝去後の退所と入所が追い付かないことがあり、ベッド稼働率の低下に繋がりました。

3　運営状況

（1）月別入退所状況（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入　所	男	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	6
	女	2	3	2	0	2	4	3	1	5	5	1	2	30
退　所	男	0	2	0	1	0	0	1	2	4	0	1	1	12
	女	4	2	0	1	3	3	3	1	5	1	1	0	24
月末契約者数		98	98	100	99	97	99	99	98	93	99	98	100	

（2）退所理由（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

	家　族	死　　亡			入院継続	その他	合　計
	引取り	施設看取り	入院中	自宅			
男	0	4	3	0	4	1	12
女	0	13	9	0	1	1	24
合　計	0	17	12	0	5	2	36

（3）利用者の年齢状況（令和 7 年 3 月末現在）

年齢 性別	60 未満	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90 以上	合　計	平　均 年　齢
男	0	0	0	3	3	2	5	8	21	86
女	0	1	0	2	4	7	22	39	79	89
合　計	0	1	0	5	7	9	27	47	100	89

（4）在所期間状況（令和 7 年 3 月末現在）

期間 性別	0 年以上 1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	合 計
男	3	9	4	4	1	21
女	29	24	13	10	3	79
合　計	32	33	17	14	4	100

※　平均入所期間　男性　1,432 日　女性　951 日　　施設平均　1,052 日

（5）要介護度別利用状況（在所者状況）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
要介護	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
1	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
要介護	実人員	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	**47**
2	延べ人数	120	124	120	124	124	120	124	90	100	124	112	124	**1406**
要介護	実人員	21	22	23	23	24	24	24	25	26	26	26	26	**290**
3	延べ人数	594	621	686	713	7427	691	739	730	762	779	728	794	**8564**

要介護4	実人員	47	46	44	45	44	44	46	45	45	42	41	41	**530**
	延べ人数	1347	1392	1320	1376	1340	1284	1342	1328	1292	1245	1142	1259	**15667**
要介護5	実人員	30	30	29	29	29	29	28	27	28	28	29	30	**346**
	延べ人数	900	859	864	876	874	831	846	800	820	837	804	905	**10216**
合計	実人員	102	102	100	101	101	101	102	100	103	100	100	101	**1213**
	延べ人数	2961	2996	2990	3089	3065	2926	3051	2948	2974	2985	2786	3082	**35853**
1日平均利用者数		98.7	96.7	99.7	99.7	98.9	97.5	98.4	98.2	95.9	96.3	99.5	99.4	

（6）介護保険負担限度額認定証交付状況（令和7年3月末現在）

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
男	3	3	4	3	9
女	2	21	12	21	23
合　　計	5	24	16	24	32

（7）施設入所待機者の状況（令和7年3月末現在）

申し込み受付時の状況	人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明
自宅等で介護中	62	2	6	26	**15**	**9**	0
老人保健施設に入所中	52	1	2	24	26	8	0
病院に入院中	41	1	1	8	19	12	0
GH・養護ホーム等	43	4	4	21	7	2	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合　　計	198	8	13	79	67	31	0

4　利用者の事故とその対応について（長寿の郷拠点全体）

（1）事故発生状況（令和6年4月～令和7年4月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	5	10	6	9	13	10	9	9	11	2	11	8	103
異食	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	6
誤薬	0	7	4	2	1	2	2	9	4	5	0	1	37
暴力	0	0	0	0	00	1	0	0	0	0	0	0	1
無断外出	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷・あざ	15	20	24	28	35	21	20	10	25	30	25	27	280
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	6
合　計	21	39	35	40	49	34	32	29	41	38	41	37	436

（2）事故への対応

県や保険者に報告した大きな事故は、5件でした。内容は、介助方法のミスによる骨折が2件、転倒による骨折が2件、転倒による外傷が1件でした。

法人としてはリスクマネジメント委員会を毎月開催して、介護事故の集計や内容の把握などを行い、介護事故削減に向け取り組みを行っています。事故が発生した際は、早急な受診と家族への報告を行うと共に、各ユニット単位で事故の原因や予防策を検討しています。

5　利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（1）苦情等の受付状況

受付月日	苦情等の受付はありませんでした
苦情の内容	
対　　応	

6　「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

（1）身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
女性。80代。 経鼻経管栄養の方。	ミトン型手袋使用。	経鼻経管栄養者だが、度々自己抜去もあり、指針に則り手続きを行い開始している。経口摂取移行の挑戦やその他代替策も試したが、誤嚥性肺炎で入院をされたり等々で効果が見られず、切迫性・非代替性・一時性も確認した上でミトン型手袋使用継続中。

（2）高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7　施設・設備等の改善について（長寿の郷拠点全体）

月　日	内　　容
4月2日	iPad（10台）購入
5月23日	三菱エアコン（2台）購入入替
5月18日	iPad（5台）購入
7月25日	EPB防災タワー設置
7月22日	Comuoon mobile購入
7月1日	低床3モーターベッド（2台）購入入替
7月9日	車両ハイエースバン（30-56）リース開始
8月26日	特殊浴槽エチュードL（2台）設置（シャワーチェアーは4台）
8月23日	特殊浴槽の電気、排水工事
10月4日	北側屋根（全長）の雪止め工事
12月16日	デイサービス内空調設備の配管結露対策工事
12月24日	GHP（2基分）の落雪受け屋根工事

8　行事実施状況

月　日	内　　容	参加人数
7月29日	遠野長寿の郷夏まつり	家族30名
9月23日	敬老会	家族13名
1月15日	小正月	名

9　会議・研修実施状況（長寿の郷拠点全体）

（1）　会議実施状況

会　議　内　容	回数
法人全体会議	3回
主任者会議	12回
多職種連携会議	10回
リスクマネジメント委員会	12回
経営推進会議（法人）	6回

（2）施設内研修実施状況

月　日	研　修　内　容	参加人数
4月1日～	令和5・6年度採用者兼中途採用者研修（5日間）	10名
5月24日	介護施設における感染症予防及びまん延防止食中毒について	34名
5月24日～	令和6年度　介護施設における安全対策担当者養成研修	1名
6月1日～	令和6年度認知症介護基礎研修（オンライン）	5名
6月18日	成年後見制度について（法人リスクマネジメント）	62名
7月19日	危険予知訓練	25名
8月20日～	新型コロナウイルス感染症のＰＰＥ予防服の取り扱いについてのシミュレーションの実施	40名
9月19日	摂食嚥下について	35名
10月2日～	令和6年度第2回採用者研修（3日間）	12名
10月15日	高齢者虐待・身体拘束～不適切ケアについて～	26名
10月18日	医療的ケア研修実地研修	1名
11月14日	介護ロボットセミナーズーム	1名
11月18日～	令和6年度リスクマネジメント研修（オンライン）	3名
1月15日～	アンガーマネジメントの受容性と手法について	87名
11月30日～	科学的介護情報システム（LIFE）研修会（オンライン）	4名
2月16日～	身体拘束、虐待防止に関する研修	87名
2月21日	身体拘束を必要としないケアのコツ（オンライン）	3名

（3）施設外研修

月　日	研　修　内　容	参加人数
5 月 28 日～	ユニットリーダー研修（実地研修）	1 名
6 月 11 日～	令和 6 年度岩手県介護支援専門員更新研修Ⅰ	1 名
7 月 2 日～	医療的ケア：実地研修受講技術確認演習	1 名
7 月 6 日	コーチング研修	1 名
7 月 6 日～	介護技術講習会	3 名
7 月 16 日	令和 6 年度介護職員等処遇改善加算等取得促進：支援セミナー	1 名
7 月 17 日	介護福祉士を目指す留学生受け入れ・支援セミナー	1 名
7 月 20 日	感染管理に係るリンクナース育成事業研修（2 年目）	1 名
9 月 12 日	令和 6 年度社会福祉法人経営サポートセミナー	2 名
7 月 29 日	「感染管理に係るリンクナース育成事業」	1 名
9 月 4 日	社会福祉法人経営サポートセミナー	1 名
9 月 12 日	令和 6 年度社会福祉法人経営サポートセミナー	2 名
9 月 27 日～	令和 6 年度岩手県災害派遣チーム員登録研修（法人）	2 名
10 月 4 日	令和 6 年度介護実習Ⅱｂ実習指導者会議	1 名
10 月 17 日～	介護福祉士実習指導者講習会	2 名
10 月 29 日	令和 6 年度エルダー・メンター制度導入研修会	1 名
10 月 29 日	令和 6 年度「社会福祉法人経営塾」	1 名
11 月 1 日	令和 6 年度岩手県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修	1 名
11 月 5 日～	介護職員初任者研修(法人)	2 名
11 月 10 日	岩手県災害派遣福祉チーム活動訓練	1 名
11 月 14 日	法定研修セミナー	1 名
11 月 15 日	遠野市社会福祉法人等連絡会第 1 回実習指導者連携分科会	1 名
11 月 17 日	遠野市地域共生社会推進セミナー	1 名
11 月 27 日～	令和 6 年度岩手県介護支援専門員更新研修Ⅱ	1 名
12 月 12 日	問題解決しない事例検討会	5 名
12 月 17 日	令和 6 年度「特定地域づくり事業協同組合制度」研修会	1 名
1 月 31 日	令和 6 年度認知症疾患医療センター研修会	2 名
3 月 3 日	魅力ある職場づくりセミナー	2 名
3 月 22 日	令和 6 年度第 3 回定例研修会	2 名
3 月 24 日	若手中堅社員研修	2 名

10　視察・研修受け入れ状況（長寿の郷拠点全体）

月　日	所属又は氏名	内　　容	人　数
5 月 18 日	盛岡南病院（医療相談員）	施設見学	1 名
6 月 5 日～ 6 月 28 日	盛岡医療福祉スポーツ専門学校 2 年生	介護実習Ⅱ-第 2 段階	1 名
9 月 5 日 9 月 11 日	医学生の「地域医療研修」の受け入れ（2 日間）	施設の役割と行政上の位置づけについて	6 名
10 月 15 日～ 11 月 17 日	専修大学北上福祉教育専門学校 2 年生	介護実習Ⅱ b	1 名
11 月 11 日～ 11 月 20 日	岩手県立大学社会福祉学部 2 年生	社会福祉士取得のための施設実習	1 名

11　防災訓練等実施（長寿の郷拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回　数
新任職員	防災研修	施設内消防設備と防災マニュアル確認	7 名
職員	消防訓練	職員による夜間想定避難訓練（複数回）	23 名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	28 名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	30 名
職員	参集訓練	LINE と緊急連絡網の試行・参集、非常食試食、防災 DVD 上映	44 名
防災担当者 職員・利用者	総合防災避難訓練	令和 6 年度モデル事業所防災訓練研修会兼消防立会いによる夜間想定避難訓練･消火訓練	36 名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	25 名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	28 名
防災担当職員	危険物研修	全国危険物安全協会講師による出前講座	1 名
職員	普通救命講習Ⅱ	（感染症により中止）	
担当職員	設備等取扱研修	消火器初期消火訓練・煙体験・起震車での地震体験	1 名

12　ボランティアの状況（長寿の郷拠点全体）

月　日	所属又は氏名	内　　容	人　数
1 月 27 日	小原立	デイサービス長寿園での傾聴ボランティア等	1 名

【４】特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（短期入所）

１　実践目標

1.　利用者が楽しみを持ち、快適に過ごすことができる。
2.　職員が助け合いながら、互いに成長できる環境作り。
3.　数値目標　稼働率 94%　月間収入目標 7,207,565 円　年間収入目標 86,490,778 円

２　実践目標の達成状況及び成果

1. 利用者が楽しみを持ち、快適に過ごすことができる。

毎月の担当を決め、季節感のある装飾を意識し利用者様が穏やかに過ごせるよう環境つくりに努めた。

数年ぶりに家族懇談会を開催し、施設内の見学や食事体験などをしていただいた。また、デイサービス長寿園と合同で実施した事で、ショートステイの宣伝にもなり、実際に利用へ繋がった人もあった。また、満足度調査は実施しないでしまった。

７月～10 月にかけ人事異動が多く職員体制が落ち着かないことから普段の業務にも影響があり、3 日以内の事故報告書の検討ができなかった。また、多く業務の定着に時間がかかったこともあり、毎月の利用者懇談会が実施できなかった。

月１回の行事またはレクリエーションは毎月実施できた。ただ、利用者懇談会で聞いた意見を活かせなかったので、来年度は行事を企画する際などの参考に活用したい。

2. 職員が助け合いながら、互いに成長できる環境作り。

5 月に「ショートステイ令和 6 年度料金改定について」。11 月に「短期入所の受け入れ状況の変化について」。2 月～3 月に「認知症についての勉強会」を開催。3 テーマ以上の勉強会の目標は達成できたが、「認知症についての勉強会」以外は、茅町会議内でのみの実施となったため、会議出席者しか受けることができず、全員出席できるように予定を組むことが来年度への課題となった。

毎月の茅町会議内で業務の見直しを行なった。また、7 月から 10 月にかけ職員異動が多く、異動してきた職員の視点から業務改善する点も多々あった。更に、環境整備についても効率の良い動線を考え、物品の配置換えや整理整頓を行なうことができた。しかし、当初の予定である担当は決めずに行ってしまい、一部の職員に負担がかかってしまった。

3. 数値目標

年間の目標稼働率 94%に対し、91.4%。

稼働率低下の要因としては、入院や施設入所でのキャンセルが多くある。満足度の向上で離脱者を減らす事や、長期入所相談員と情報共有しながら、施設入所で空いた後の対応を迅速にしていきたい。緊急利用の相談には積極的に対応できている。

新規利用の相談は要介護度の軽度化が顕著に見られる。そのため、例年程度の稼働率だと収入の低下が考えられる為、今後はより稼働率の向上が必要になってくると思われる。

3　運営状況

（1）利用状況（令和6年4月～令和7年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要支援1	実人員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.2
	延べ人員	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	0.67
要支援2	実人員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	0.3
	延べ人員	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	10	0.8
要介護1	実人員	12	12	8	10	10	11	12	10	15	15	12	14	141	11.8
	延べ人員	112	117	76	75	70	90	81	47	103	93	83	106	1053	87.8
要介護2	実人員	14	15	18	20	20	19	19	20	19	17	19	19	219	18.3
	延べ人員	113	122	156	202	190	153	150	142	130	174	165	146	1843	153.6
要介護3	実人員	15	14	14	14	18	15	16	18	18	18	17	15	192	16
	延べ人員	195	202	200	201	255	203	230	263	267	238	201	214	2669	222.4
要介護4	実人員	10	10	13	12	8	8	8	10	11	9	8	7	114	9.5
	延べ人員	100	133	191	144	141	141	135	92	114	102	112	133	1538	128.2
要介護5	実人員	5	6	3	5	3	4	7	4	5	6	5	6	59	4.9
	延べ人員	28	51	16	37	19	31	46	25	48	67	54	64	486	40.5
合計	実人員	57	58	56	61	59	57	62	62	68	66	62	63	731	60.9
	延べ人員	552	630	639	659	675	618	642	569	662	675	617	669	7607	633.9
平均利用者数/日		18.4	20.3	21.3	21.3	21.8	20.6	20.7	19.0	21.4	21.8	22.0	21.6	－	20.8
稼働率（%）		80.0	88.4	92.6	92.4	94.7	89.6	90.0	82.5	92.8	94.7	95.8	93.8	－	90.6

（2）介護保険負担限度額認定証交付状況（令和7年3月末現在）

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
従来型個室	0	4	0	1	9
多床室	0	2	0	0	6
合計	0	6	0	1	15

4　利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（1）苦情等の受付状況

受付月日	令和6年8月29日
苦情の内容	レクリエーション活動中に転倒し、骨折と診断あり入院となる。 利用者Aさんの担当ケアマネから電話あり「娘さんから『先日の転倒での病院代は施設からは出ないんですか？また、受診の時は仕事ですぐに行けないと伝えたが、施設では受診対応してもらえないのか？入院にならなかった場合、施設に戻るのが遅い時間だと迎えに行けないとの事だったが、施設で対応して欲しい。夕食も遅くなると食中毒が心配で取っておけないので何か買って用意するように言われたが、何とかならないか』と話がありました」との事だった。 また、後日にお孫さんからも「夜に施設へ戻るとなると車をどうすれば良いか心配になる。また、痛みがあるなら早く病院に連れて行ってもらいたかった。痛いままで置いとくのは可哀そうだし、骨折だけでなく重大な状況だったらと思うと、そこは施設で対応しても良いのではと思います。自分は仕事で行けなかったので、そういう時は施設で対応してもらいたかった」と話がある。
対　　応	また、同様の訴えを保険者（遠野市）にも行っていたため、市職員を交えて、満足のいかない対応だった事について謝罪を行なった。受診の対応については、職員体制も含めて検討していく事を伝える。 病院代については事故の保険申請をして支払いを行なった。

受付月日	令和7年1月16日
苦情の内容	利用者Bさんの家族が、定期受診の為に迎え来た際、職員から「発熱していた為、コロナとインフルエンザの検査を受診と併せて行ってほしい」と言われた。事前に電話いただいたようだが、携帯を確認していなかったので初めて聞く内容だった。検査結果が出るまで本人は辛くないだろうから施設で検査を行なってほしい。（家族へは事前に何度か連絡したが出なかったため、留守番電話にメッセージをいれていた） また、帰ってきたら爪が伸びていたので、ちゃんと確認してほしいと話があった。
対　　応	ご要望に沿った対応が出来なかったことを謝罪する。 発熱時の検査については、コロナやインフルエンザ以外も考えられることや医師に診察をしてもらう為にも受診していただきたい事を伝えた。 爪きりに関しては、整容を含めて確認するようにした。

5　「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

（1）身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
74 歳 女性 要介護度 5	リクライニングチェアのベルト	テーブルに足を乗せ、体を突っ張る行為が頻回にあり椅子や車椅子から転落・転倒が続いていた。体動も多く、リクライニング車椅子からの転落リスクも高い。 ケガ防止の対策として、指針に基づいてベルト付きのリクライニング車椅子を使用している。

（2）高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

6　行事実施状況

月　日	内　　容	参加人数
5 月　15 日	新緑ドライブへ行こう！	6 名
6 月　22 日	地域対抗スカットペットボトル倒し大会	14 名
7 月　24 日	好きなトッピングでかき氷を食べよう！	22 名
8 月　15 日	スイカ割りをしよう！	13 名
9 月　23 日	軽体操を行なう	10 名
10 月　19 日	茅町紅葉ドライブ	5 名
12 月　23 日	クリスマスパーティー	17 名
1 月　14 日	かねなり風白玉団子	20 名
2 月　25 日	風船バレーで体を動かそう！	17 名
3 月　22 日	ショートステイ・支援ハウス合同開催イチゴ大福作り	18 名

【５】老人デイサービスセンター長寿園

１　実践目標

1.　みんなの元気が出るデイサービス
2.　年間稼働率 85%以上
数値目標　年間収入 62,688,000 円以上（月間 5,224,000 円以上）

２　実践目標の達成状況及び成果

今年度は、上半期の稼働率が平均を上回っていたが、利用者の軽度化も見られ目標収入額にとどかなかった。下半期は新規利用者の依頼は多くあったものの、状態変化のため在宅復帰できず利用が終了になる方や、事業所変更などもあり稼働はしているが利用者増にはならず、稼働率・収入ともに目標達成には至らなかった。通年通して、利用者の軽度化とショートステイの利用の長期化が影響し、事業収入の減にも繋がった。

引き続き感染症対策を行いながら、ご家族の皆様にも協力して頂き、体調不良時の連絡体制を確認したことで、熱発等の体調不良が見られた時には連絡から帰園への対応がスムーズにでき蔓延を防ぐことができたように思う。

活動に関しては、季節感がある活動を提供することを意識して企画実施することができた。

苦情・要望に関しては、今年度は苦情が 2 件、要望も多数聞き取り行った。利用者・家族が安心して利用できるように、対応策を職員間で周知し改善に努めたい。

また、事故報告も前年度より増加している。転倒により受診した事故もあった。基本的な介護技術・対策で防げる事故報告も多く、職員の介護技術と危機管理意識の向上に努めていかなければならない。

3　運営状況

（1）利用状況（令和6年4月～令和7年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要支援1	実人員	6	5	5	4	4	5	6	6	7	8	8	9	73	－
	延べ人員	27	21	19	19	13	20	24	21	25	25	30	30	274	－
要支援2	実人員	6	5	5	7	6	5	4	4	4	4	4	4	58	－
	延べ人員	37	29	29	42	38	27	26	21	22	23	22	23	316	－
要介護1	実人員	22	22	21	21	20	21	23	23	20	19	17	22	251	－
	延べ人員	165	174	166	178	145	154	188	188	135	137	115	123	1868	－
要介護2	実人員	21	22	22	22	22	22	19	19	22	21	23	23	258	－
	延べ人員	185	187	203	213	187	210	201	190	189	204	199	231	2399	－
要介護3	実人員	12	12	13	12	11	12	10	11	12	12	12	13	142	－
	延べ人員	104	96	94	97	74	81	64	55	71	84	73	103	996	－
要介護4	実人員	6	7	7	7	7	5	6	7	6	3	4	3	68	－
	延べ人員	51	60	58	59	37	30	34	33	23	16	23	17	441	－
要介護5	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	3	8	－
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	8	9	28	－
合計	実人員	73	73	73	73	70	70	68	70	72	69	70	74	855	－
	延べ人員	569	567	569	608	494	497	537	508	470	495	470	636	6420	－
平均利用者数/日		26	27	25	27	25	26	27	26	25	25	24	26	309	25.8
稼働率（%）		90.0	85.9	93	93	82.2	84.5	83,3	78,8	77,3	79,5	80,0	87.0	1014.5	84.3

※要支援1に事業対象者を含んでいます。

4　利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（1）苦情等の受付状況

受付月日	令和6年11月14日
苦情の内容	浴槽内のお湯の汚れが気になり気持ちよく入浴できなかった
対　　応	浴槽内の汚れに見えるものは消毒のための塩素の泡であること説明し、事前に取り除くなど職員間で周知し改善に努めることを伝える

受付月日	令和7年1月24日
苦情の内容	デイ通信の内容の見直しと意見要望を聞き取る姿勢を持ってほしい
対　　応	申し出の意図や思いを確認し、内容の見直し案や、利用者への関り方の姿勢を職員間で意識する

5　「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

（１）身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

（２）高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

6　行事実施状況

月　日	内　　容	参加人数
4 月	職員紹介・脳トレ・ゲーム運動・花見ドライブ・座談会	-名
5 月	DVD 鑑賞・ゲーム運動・脳トレ・春の大運動会・園芸 買い物ドライブ	-名
6 月	ゲーム運動・ドライブ・おやつ作り・DVD 鑑賞・脳トレ	-名
7 月	買い物・作品作り・ゲーム体操・おやつ作り・脳トレ	-名
8 月	作品作り・脳トレ・ドライブ・ゲーム運動・おやつ作り DVD 鑑賞・高校野球観戦	-名
9 月	ドライブ・ゲーム運動・作品作り・おやつ作り・座談会 脳トレ	-名
10 月	ゲーム運動・作品作り・おやつ作り・買い物・ドライブ 脳トレ・ＤＶＤ鑑賞	-名
11 月	ドライブ・作品作り・脳トレ・おやつ作り・スカットボール ゲーム運動・DVD 鑑賞	-名
12 月	DVD 鑑賞・脳トレ・ドライブ・作品作り・おやつ作り お楽しみ会	-名
1 月	初詣・ゲーム運動・脳トレ・正月遊び・水木飾り・ドライブ カラオケ	-名
2 月	節分行事・脳トレ・作品作り・おやつ作り・ゲーム運動	-名
3 月	お雛様行事・ゲーム運動・おやつ作り・座談会 一年の振り返り	-名

【6】居宅介護サポートセンター長寿園

1　実践目標

1.　ケアマネジメントの質を高める。
2.　業務の効率化と業務管理体制の強化。
3.　チームとしての支援体制向上。

数値目標　年間収入目標 18,000,000 円以上（月平均：15,000,000 円以上）

2　実践目標の達成状況及び成果

令和 6 年度は 5 年度同様の目標を立てながら、個々のケアマネジメント技術向上のための研修参加や他事業所との事例検討会を取り入れてきた。週 1 回程度、事業所内での伝達会議内で事例検討会を行い世帯の共有、支援方法について議論してきた。少人数でいつも同じメンバーでの事例検討会では緊張感も薄れ、マンネリ化してしまうこともあるので、今年度は他事業所と共同での事例検討会を取り入れた。効果として、ファシリテーションの技術向上や他事業所のケアマネがみる事例課題をどのように抽出するか体感し刺激を受けた。このことにより、家族関係の希薄・介護力の弱さ・困窮・認知症で独居等、様々な課題を抱えた世帯に対して、地域や親族・行政と多職種で支援していくマネジメントを当たり前に行えるようになった。伝達会議以外でもケースの相談や共有を事業所内で行いながらケアマネジャー個人の負担軽減を図っている。また、同行訪問を行い世帯状況の確認や緊急時の対応に供え、担当ケアマネジャーが対応できないときは事業所内のケアマネジャーが訪問・対応することが出来ている。

業務の効率化については、ケアプラン作成ソフト（以下「ケアカルテ」という）に入れ替わり帳票類の活用についての確認を行った。特にもアセスメントからケアプラン作成業務、請求業務が変わり新人ケアマネが異動してきても業務がスムーズに行えるようマニュアルを作成し、次年度は見直しを行っていく。ケアプランデータ連携を国で推し進めており、遠野市内でもようやく 2 月から運用開始となった。2 月運用を踏まえケアプランデータ連携がスムーズに行えるよう、法人内の在宅サービス事業所と協力しケアカルテ同士で提供表や実績の連携を 9 月より行い、データ連携システムでは 11 月より実践したことで抵抗なくスタートを切ることが出来た。データ連携を行うことで印刷業務の減少、ケアプラン配布時間の削減につながっているが、システムの操作で時間を要することもあるので業務の改善は継続して行っていきたい。

ケアプラン作成件数は（介護給付費、予防給付費）月平均 112 件。介護度別でみると要支援 1・2 が 272 件（前年度比▲29 件）、要介護 1・2 が 762 件（前年度比▲21 件）、要介護 3・4・5 が 317 件（前年度比▲18 件）とであった。月平均給付件数については 89.9 件と目標件数及び収入目標を達成できなかった。新規契約の時点で 85 歳以上、認知症、独居、心不全憎悪、癌の方が多く、入所希望者が多数で長期的な支援とならない。契約終了者に比べ新規相談が保険者・地域包括支援センターからの依頼が以前よりも少ないため、現在関りを持っている世帯に対して満足いただけるようなケアマネジメントを心掛けリピーターとなっていただけるよう励んでいくことが安定した経営の一つの手段ではないかと考える。

3　運営状況

（1）利用者の状況

利用登録者の要介護度件数（令和６年３月 31 日現在）　(件)

介護度	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
件数	2	7	13	41	27	11	7	5	113

（2）要介護度別給付管理状況　(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
居宅介護支援費	131	134	134	141	142	143	145	144	151	126	130	138	1659	138.2
要介護1	37	38	35	39	38	41	41	40	38	36	36	41	460	38.3
要介護2	27	25	26	26	26	27	27	22	24	22	23	27	302	25.1
要介護3	12	13	13	14	15	16	15	15	17	15	12	11	168	14
要介護4	10	10	11	10	11	9	9	13	11	7	8	7	116	9.6
要介護5	2	2	2	2	2	1	3	2	3	3	4	5	33	2.75

（3）介護予防受託状況　(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
受託件数	27	26	26	23	23	21	20	19	21	23	21	22	272	22.6
非該当	1	1	1	1	1	0	0	1	2	2	2	2	14	1.1
要支援1	11	10	11	8	8	8	7	7	8	9	8	7	102	8.5
要支援2	15	15	14	14	14	13	13	11	11	12	11	13	156	13

（4）認定調査受託状況　(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
受託件数	6	7	5	4	5	15	0	9	7	6	3	7	74	6.2

4　利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（1）苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対　　応	

5　施設外研修・会議状況

月　　日	研　修　内　容	参加人数
4月19日	令和 6 年度在宅医療・介護連携推進事業/包括的・継続的ケアマネジメント推進事業 「岩手県立遠野病院と介護支援専門員等との情報交換会」	3名
6月14日	居宅上郷と合同事例検討会	3名
7月4日	とおぬっぷ介護保険相談室と合同事例検討会	3名
8月1～2日	岩手県介護支援専門員主任更新研修	1名
9月6日	ケアマネ支援センター巡回相談研修	1名
9月12日	地域ケア会議	3名

10月3日	ケアマネジメント推進委員会 遠野市重層的支援体制整備事業について 遠野市ひきこもり支援について	3名
10月22日	ケアプランデータ連携説明会	2名
12月2日	令和6年度在宅医療福祉人材育成研修	2名
12月12日	遠野市社会福祉協議会主催 「問題解決しない事例検討会」	3名
1月16日	岩手あんしんサポート事業相談員研修	1名
2月4日	ケアマネジメント推進委員会主催 「自立支援型ケアマネジメント研修」	3名
3月11日	ケアマネジメント推進委員会主催 「医療と介護との情報交換会」	1名
3月14日	地域ケア会議	2名
3月26日	遠野市社会福祉協議会主催 「寄り添う研修会、ひきこもり支援」	1名

【７】生活支援ハウス長寿園

１　実践目標

1.　家庭的な雰囲気を保ち、利用者が在宅での生活をそのまま継続できるように努める。
2.　入所受け入れの際は遠野市と連携を密にし、利用率の向上に努める。
3.　数値目標　年間収入目標（受託予算）　１１，２００，０００円

２　実践目標の達成状況及び成果

今年度も例年と同様に、冬季間に凍結や積雪により在宅生活が一時的に困難になる方で 12 月頃から 3 月頃まで利用が多く、4 月～11 月頃には計画的な申し込みが少なく、緊急的に利用される方がいる傾向でした。冬期間は 1 月で満床になりましたが、市の担当者からはキャンセルが数人続いた事や申込者が減少しているとの話がありました。

冬期間以外の内容としては、退院後に在宅復帰へ向けた練習期間、同居家族の入院による利用や同居家族とのトラブルでの利用などがありました。

生活支援ハウス入所中に体調を崩し入院となった方が数名おりましたが、近くに身寄りがいない方も多く、遠野市や担当ケアマネなどと連携を取りながら早期の受診に繋げれたと思います。ただ、緊急時の対応方法は個別で検討しておいた方が迅速な対応に繋げれる事やトラブル予防にもなると思うので、今後の課題として挙げられます。

数値目標に対しては 11,616,950 円と達成しています。

3　運営状況

（1）利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
自立	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	3	3	13	1.1
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	90	93	84	61	328	27.3
要支援1・2	実人員	2	1	1	2	1	0	0	2	5	6	5	6	31	2.6
	延べ人員	25	25	5	46	31	0	0	38	84	182	140	111	687	57.2
要介護1	実人員	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	2	2	8	0.67
	延べ人員	30	17	0	0	0	15	0	0	31	31	56	60	223	18.6
要介護2	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	実人員	3	1	1	2	1	1	0	2	10	10	10	11	52	4.3
	延べ人員	55	25	5	46	31	15	0	38	205	306	280	232	1238	103.2
平均利用者数/日		1.8	0.8	0.2	1.5	1.0	0.5	0	1.2	6.6	9.9	10	7.5	3.4	－
稼働率（%）		18.3	8.0	1.7	14.8	10.0	5	0	12.6	66.1	98.7	100	74.8	33.9	－

（2）利用者の世帯構成

	独　居	夫婦のみ	その他	合　計
男	3	1	1	5
女	11	0	0	11
合　計	14	1	1	16

【８】養護老人ホーム長寿の森　吉祥園

１　実践目標

1.　利用者も職員も心地よいと感じる施設づくりをめざす
2.　数値目標　１日付措置率 100％　稼働率 98％
月間収入目標　11,052,000 円以上（措置費＋特定基本分）
年間収入目標　132,624,000 円以上（措置費＋特定基本分）

２　実践目標の達成状況及び成果

今年度の目標は、「利用者も職員も心地よいと感じる施設づくりをめざす」とし、各部署ごとに「穏やかな言葉で話す」「否定的な言葉を使わない」などの目標を設定し取り組んだ。また、年３回「虐待の芽チェックリスト」を実施し、日頃自分がどのような態度で利用者に接しているか、また他の職員はどのように利用者に接しているかのチェックを行なった。その他には、外部講師をお招きし接遇研修を実施した。様々な取り組みを行なったが、特に言葉遣いの面で現在も不適切な対応が見られるため、今後も継続して取り組んでいく必要がある。

今年度は、初めてヒヤリングフレイルの研修を実施した。聴力の低下によって周囲との関りが大きく変化し、周囲が聴力の低下に気付かず放置すると心身の活力の衰えが進み、認知症のリスクが高まることを学んだ。また、聴力が低下しているために、しっかりとした受け答えができず、認知症と判断されている方も少なくないとのことだった。利用者との日常の会話の中で、昨年度導入した対話支援システムｃｏｍｕｏｏｎを活用し、円滑にコミュニケーションを図っていきたい。

各行事では、昨年度より職員が楽しませる行事から利用者参加型の行事に転換し、利用者の要望を取り入れ、利用者と職員が一緒に行なう企画を検討し実施した。利用者と一緒に行なう催し物を行なうことで、利用者が役割を持って参加し、行事中の利用者の表情が明るくなったように思える。来年度以降は、行事企画の時に利用者に参加してもらい、意見や要望を取り入れていきたい。

令和７年１月に、新型コロナウイルス感染症が発生しクラスターとなった。令和４年度のクラスター発生の時は、デイサービスを休業し対応したが、今回はデイサービスを休業することなく対応した。利用者 30 名・職員 16 名の陽性者が出たが、職員の療養期間が５日間になったことで、吉祥園の職員のみで対応することができた。２度目のクラスターを経験し、陽性者が出た時の初動体制の見直しや日々変化する状況の情報共有の仕方など見直すことができたので、今後の感染症対応に活かしていきたい。

数値目標は、１日付措置率 100％・稼働率 98％に対して、１日付措置率 100％・稼働率 96.24％だった。収入に関しては、年間収入目標 132,624,000 円に対して、134,160,141 円と達成できた。１日付措置入所 50 人は達成することができたが、今年度は入院者が多く、稼働率は目標を下回った。精神科の入院は、薬の調整のため長期入院になるケースが多かった。また、窒息や転倒骨折での入院もあった。いずれも長期入院になってしまったため、日々の支援方法を見直していきたい。

3－1　養護老人ホームの運営状況

（1）長期入所者状況　（定員 50 名）

項目	数
各月 1 日付け平均入所者数 年平均稼働率	50 人 100%
1 日平均利用者数 年平均稼働率	48.12 人 96.24%
延べ利用人数	17564 人

※ 1 日平均利用者数は、入院者及び措置解除者数を減じた数

（2）短期入所者状況　（定員 2 名）

項目	数
一日平均利用人数	0.46 人
延べ利用人数	170 人
年平均稼働率	23.2%

（3）年度別入退所者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

入所者数			退所者数			退所者数内訳
男	女	計	男	女	計	
1	7	8	3	6	9	死亡退所 5 名　長期入所 3 名 入院継続 1 名

（4）月別入退所状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入　所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	0	7
退　所	男	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
	女	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	6
月初（1 日）入所者数		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	

（5）措置機関別入所者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	遠野市	釜石市	大船渡市	大槌町	計
男	18	1	0	0	19
女	28	2	0	0	30
計	46	3	0	0	49

（６）年齢別数（令和７年３月 31 日現在）

	満 65 歳未満	66～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	計	平均年齢
男	0	2	4	4	5	2	2	19	79
女	0	0	1	2	3	6	18	30	89
計	0	2	5	6	8	8	20	49	85.2

（７）介護度別入所者数（令和７年３月 31 日現在）

	自立	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
男	7	0	1	4	2	2	1	2	19
女	2	2	0	12	5	6	2	1	30
計	9	2	1	16	7	8	3	3	49

（８）障害者等加算者・病弱者加算者数（令和７年３月 31 日現在）

	障害者等加算	病弱者加算
男	3	6
女	2	10
計	5	16

（９）ショートステイ利用状況

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
1	2	1	0	0	1	1	2	1	0	1	2	12

(10) 利用者の費用負担状況（令和７年３月 31 日現在）

	徴収基準月額	男	女	計
１	０円	3	2	5
２	１，０００円 ～ ４，７００円	0	0	0
３	５，０００円 ～ ９，１００円	0	3	3
４	１０，８００円 ～ １９，１００円	2	4	6
５	２０，８００円 ～ ２７，５００円	0	1	1
６	３０，８００円 ～ ３９，８００円	7	5	12
７	４１，８００円 ～ ４９，８００円	3	9	12
８	５１，８００円 ～ ５９，８００円	2	2	4
９	６２，４００円 ～ ８１，１００円	1	3	4
１０	８１，１００円以上	0	3	3
合計		18	32	50

備考　上記の該当費用徴収基準月額の上限は、１４０，０００円。

3－2　外部サービス利用型指定特定施設入居者生活介護事業の運営状況

（1）利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	13	12	11	12	12	11	11	11	11	11	11	10
女	20	19	18	19	20	20	22	22	21	20	20	21
合計	33	31	29	31	32	31	33	33	32	31	31	31

（2）要介護度別利用者数（令和7年3月31日現在）

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
男	4	1	2	0	2
女	7	5	8	2	0
合　計	11	6	10	2	2

4　利用者の事故とその対応について（長寿の森拠点全体）

（1）事故発生状況（令和6年4月～令和7年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	15	10	7	4	9	12	6	10	9	8	11	8	109
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	2	0	1	0	3	1	0	0	1	1	9
暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	5
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷・あざ	3	2	2	0	3	2	2	3	4	3	2	7	33
その他	2	3	1	2	0	3	3	0	1	1	1	1	18
合　計	20	16	13	6	14	17	15	14	14	13	15	17	174

（2）事故への対応

今年度は、転倒骨折3件、皮膚剥離1件、無断離設1件、窒息1件の合計6件の事故を県南広域振興局・措置権者に報告しました。

リスクマネジメント委員会の安全担当委員を中心に、各事故に対して原因究明し対応策を立て支援しています。

5　利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（1）苦情等の受付状況

受付月日	苦情等の受付はありませんでした
苦情の内容	
対　　応	

6　「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

（1）身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

（2）高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7　施設・設備等の改善について（長寿の森拠点全体）

月　日	内　　容
8 月 9 日	吉祥園居室・エアコン設置工事　12,848,000 円（税込み）

8　行事実施状況

月　日	内　　容	参加人数
4 月 17 日	観桜会	48 名
6 月 25 日	運動会	45 名
7 月 5 日	1 丁目お楽しみ会 1 回目（遠野市立博物館・上郷産直）	8 名
7 月 9 日	2 丁目お楽しみ会（ドライブ・買い物・会食）	10 名
7 月 12 日	1 丁目お楽しみ会２回目（遠野市立博物館・上郷産直）	9 名
8 月 3 日	夏まつり	45 名 ご家族 15 名
9 月 29 日	敬老会	50 名
9 月 13 日	3 丁目お楽しみ会（大船渡魚市場・かもめテラス・会食）	9 名
10 月 18 日	3 丁目お楽しみ会（遠野伝承園・会食）	7 名
11 月 7 日	味覚祭	50 名
11 月 19 日	1 丁目お楽しみ会（釜石紅葉ドライブ）	8 名
11 月 14 日	2 丁目お楽しみ会（紅葉ドライブ）	12 名
12 月 4 日	1 丁目お楽しみ会（遠野風の丘ドライブ）	9 名
12 月 19 日	クリスマス忘年会	49 名
12 月 18 日～	吉祥園サンタ（保育園 3 か所　小学校 1 か所訪問）	5 名
1 月 8 日～	初詣	13 名
1 月 9 日	白樺会新年会	50 名

9　会議・研修実施状況（長寿の森拠点全体）

（1）　会議実施状況

会　議　内　容	回数
全体会議	8 回
主任者会議	11 回
リスクマネジメント委員会兼虐待防止検討委員会	11 回
安全担当会議	11 回
感染症担当会議	11 回
身体拘束及び高齢者権利擁護担当会議	10 回
介護会議	12 回
厨房会議	11 回
給食委員会	7 回
ヘルパー会議	11 回
デイ会議	12 回

（2）施設内研修実施状況

月　日	研　修　内　容	参加人数
5 月 31 日	ヒヤリングフレイルセミナー	29 名
6 月 17 日	成年後見制度の概要（法人研修）	21 名
7 月 29 日	吐物処理・PPE 着脱の仕方について	20 名
9 月 30 日	摂食・嚥下障害の基礎知識	21 名
11 月 29 日	接遇マナー研修	26 名
1 月 8 日・10 日	吐物処理について	5 名
1 月 16 日	医療施設におけるｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ・ノロウイルス対策（法人研修）	17 名
2 月 28 日	身体拘束研修（ルールを理解し、身体拘束の防止・廃止に取り組む）	34 名
3 月 24 日	日常の様子を活用しての危険予知訓練	29 名

（3）施設外研修

月　日	研　修　内　容	参加人数
6 月 21 日	令和 6 年度第 2 回社会福祉従事者等専門研修会	1 名
8 月 8 日	小規模多機能等看護職員研修会	1 名
9 月 26 日	技能実習指導員講習	1 名
10 月 16 日～	食の安全を考える講座	1 名
10 月 17 日～	令和 6 年度介護福祉士実習指導者講習会	1 名
10 月 22 日～	令和 6 年度岩手県認知症介護実践者研修	1 名
11 月 5 日～	介護職員初任者研修	1 名

11 月 21 日	感染者発生時の対応　具体的事例と実践的アドバイス（オンライン）	2 名
11 月 22 日	令和 6 年度第 1 回釜石市権利擁護研修会	2 名
12 月 4 日	令和 6 年度岩手中部圏域感染症対策研修会（オンライン）	5 名
1 月 15 日	技能実習責任者講習	1 名
1 月 17 日	介護職種の技能実習指導員講習	1 名
1 月 15 日	いわて高齢者施設対象感染対策 WEB セミナー	6 名
2 月 6 日	介護人材定着支援セミナー（オンライン）	1 名
2 月 21 日	身体拘束廃止研修（オンライン）	1 名
3 月 18 日	バーセルインデックス評価研修（オンライン）	1 名

10　視察・研修受け入れ状況（長寿の森拠点全体）

月　日	所属又は氏名	内　　容	人　数
月　日	なし		名

11　防災訓練等実施（長寿の森拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回　数
職員	通報・避難誘導	日勤帯の火災を想定し、マニュアルに沿って通報から避難誘導までの訓練を実施。	5 回
職員 利用者	総合避難訓練 （日中想定）	消防署職員立ち合いのもと、夜間帯を想定し、通報・避難誘導の訓練を実施。	1 回
職員	土砂災害対応訓練	警戒レベル 3・4 が発令された時の動きの確認	5 回
職員 利用者	土砂災害対応訓練	警戒レベル 3・4 が発令された時の施設内への放送・避難誘導の訓練を実施。	1 回
職員	BCP 読み合わせ	BCP の読み合わせと現状に合わせての修正	5 回

12　ボランティアの状況（長寿の森拠点全体）

月　日	所属又は氏名	内　　容	人　数
月　日	なし		名

【９】デイサービスセンター長寿の森　踊鹿

１　実践目標

1.　利用者お一人おひとりの人権を尊重し、包括的支援体制を構築する。 数値目標 稼働率　86%以上（1 日利用平均 26 名以上） 月間収入目標　5,410,000 円 年間収入目標　64,920,000 円

２　実践目標の達成状況及び成果

実践目標 1.「利用者お一人おひとりの人権を尊重し、包括的支援体制を構築する。」については、実践項目ア.利用者の行事、楽しみの提案の充実。イ.利用者、家族等の満足度向上。ウ.安心、安全の環境整備、業務の見える化。の 3 つを実践項目とした。

ア.については月 1 回のお茶会にて提供する飲み物を、利用者に選択してもらい提供している。買い物ではいつも行くスーパー以外にリクエストがあった店へ買い物に行く事ができた。また、利用者の希望する場所や花見ドライブ等、季節に合わせた行事を実施出来た。イ.については下半期に満足度調査を行い利用者や家族の声を聞き取り集計し、来年度の計画に反映することができた。また、月 1 回の『おどろかだより』で、次月の活動予定や感染症の注意喚起等、様々な情報を発信することができた。ウ.については利用者と共に作成した作品をホールに飾るなど季節を感じられる環境作りができた。5 月に発生した新型コロナクラスターに伴い消毒や大掃除等の環境整備を行った。業務の見える化では、業務マニュアルの見直しを行った。

上記の新型コロナクラスターの発生に伴い、5 月 18.20 日の 2 日間の休業を行った。また、台風の接近に伴う悪天候により 8 月 12 日の 1 日間の休業を行った。令和 7 年 1 月には入院される利用者が多く、また吉祥園の新型コロナクラスターにより吉祥園利用者の受入れが中止し、稼働率に大きな影響があった。12 月 30 日には入浴希望者を対象に臨時営業を行っている。

数値目標について、稼働率 86%以上（1 日利用平均 26 名以上）に対し、平均稼働率 81%（1 日利用平均 24 名）となった。月間収入目標 5,410,000 円、年間収入目標 64,920,000 円に対し、平均月間収入が 5,014,268 円、年間収入が 60,171,221 円となった。稼働率、収入ともに目標達成とはならなかった。

9 月から外国人技能実習生１名が配属されている。業務以外にも、日常生活での分からない事や困り事のフォローや日本語の勉強など、デイサービスの職員みんなで協力し、サポートを行っている。

3　運営状況

（1）利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
事業	実人員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
対象者	延べ人員	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	51	4.3
要支援	実人員	18	17	18	16	14	15	15	14	15	15	15	15	187	15.6
1	延べ人員	76	62	67	72	49	52	67	45	50	52	53	57	702	58.5
要支援	実人員	10	10	9	10	10	10	9	11	13	13	14	14	133	11.1
2	延べ人員	71	62	58	62	59	61	64	64	70	74	85	98	828	69
要介護	実人員	32	34	30	31	31	32	31	31	30	29	28	30	369	30.8
1	延べ人員	271	236	245	273	255	249	273	251	227	191	194	220	2885	240.4
要介護	実人員	13	14	14	14	14	13	12	9	8	5	8	11	135	11.3
2	延べ人員	101	86	108	105	110	87	81	79	60	38	78	116	1049	87.4
要介護	実人員	7	7	8	8	8	9	10	11	11	9	8	9	105	8.8
3	延べ人員	67	55	78	79	73	84	96	108	97	79	68	70	954	79.5
要介護	実人員	4	3	3	2	2	2	2	3	3	2	2	2	30	2.5
4	延べ人員	21	20	21	20	23	18	19	24	16	12	19	21	234	19.5
要介護	実人員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2
5	延べ人員	39	38	38	40	38	32	26	39	35	34	36	39	434	36.2
合計	実人員	87	88	85	84	82	84	82	82	83	76	78	84	995	82.9
	延べ人員	650	564	619	655	612	587	630	615	559	484	537	625	7137	594.7
平均利用者数/日		26.5	23.4	25.9	25.5	24.8	24.5	24.9	25.2	24	20.5	23.5	25.5	294.2	24.5
稼働率（%）		88.4	77.9	86.3	84.9	82.7	81.7	83.1	84.1	80	68.5	78.5	85	981.1	81.8

4　利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（1）　苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対　　応	

5　「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

（1）身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
オムツいじりをしてしまう利用者様	つなぎ服の着用	自宅でつなぎ服を着用した状態。デイサービス利用時、午前の入浴後は普通のパジャマに着替える。帰る前につなぎ服に交換し自宅に帰っている。

		※デイサービスでオムツいじりをすることは、ほぼ見られていない為、ケアマネ、家族と検討を行い、令和 7年3月4日をもってつなぎ服の使用は終了となっている。

（2） 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

6 行事実施状況

月	内　　容
4 月	お花見ドライブ・じゃんけんゲーム・ピンポンゲーム
5 月	脳トレ・産直ドライブ・春の運動会・タオルでポン
6 月	傘輪投げ・産直ドライブ・カラオケ・歌詞穴埋め
7 月	ナイスイン・脳トレ・カラオケ・ドライブ・DVD 鑑賞
8 月	カラオケ・ドライブ・新聞カーペット・脳トレ
9 月	ゆらゆら玉落とし・名所めぐりドライブ・敬老会
10 月	秋の運動会・紅葉ドライブ・脳トレ・スカットボール
11 月	イントロクイズ・ボール落とし・紅葉ドライブ・カラオケ
12 月	産直ドライブ・お年玉ビンゴ・忘年会、クリスマス会
1 月	初詣・新年会・書き初め・冬の運動会
2 月	豆まき・鬼退治・スカットボール
3 月	ひな祭り見学・ダーツ・ハンドマッサージ

【10】ヘルパーステーション長寿の森

1　実践目標

1.　住み慣れた自宅で安心した生活を送ることができている
2.　外部サービスを利用し、吉祥園で安心して生活することが出来る
数値目標
月間収入目標　　3,6500,000 円（受託　2,700,000 円　　在宅　950,000 円）
年間収入目標　43,800,000 円（受託 32,400,000 円　　在宅 11,400,000 円）

2　実践目標の達成状況及び成果

【在宅】

「住み慣れた自宅で安心した生活を送ることができている」を実践目標とし、一年間取り組んだ。

小規模な事業所の特性を活かし、こまめに利用者の情報共有を行なった。

利用者の傾向として、踊鹿デイを利用、独居、吉祥園入所の待機者が多く、在宅生活を安心して継続できるよう支援した。

吉祥園入居後も、不安なく施設生活に馴染むことができるような支援をし、入所の橋渡しを行なった。

今年度も施設入所、長期入院、死亡と、それまで手厚く入っていた利用者の契約解除が続いた上に新規がなく、収入面ではかなりの落ち込みが見られた。

重度の利用者様については、手厚い介護や連携が求められ、訪問看護や入浴サービスが整備されている事業所が重宝されるが、来年度も小さい事業所なりの良いところの特性を活かし、各居宅介護支援事業所に情報提供しながら新規の受け入れをしていきたい。

【受託】

令和６年度は月 2,700,000 円を収入目標としたが、現状のままでは目標額を下回ってしまうため、サービス内容と実際の介助量に差がないか確認しながらプランの見直し・調整を４月に相談員・ケアマネ・介護主任・サ責で行った。見直しを行ったことで、上手くサービス内容に反映されていなかった食事介助なども組み込むことが出来た。

しかし、介護度が高く介助量の多い利用者は、吉祥園で生活を続けるには浴室の環境などハード面での対応が難しいため、特養へ申し込みを行い施設替えとなったり、状態の変化に伴い入院・看取り・死亡退所となる方も下半期は多く、サービス内容の見直しをしても収入に結びつかない状態が続いた。

また、実際にはサービスを提供していても、職員数が少なくその値に満たないために算定することが出来なかったり、１・２月の新型コロナクラスター発生時には、入浴や生活援助などの通常のサービス提供が出来ず、排泄介助や掃除など最低限のサービス提供しか出来なかったため、収入額は通常と比べると７割程に落ち込んでしまった。

年間を通しても目標が達成出来た月は少なく、目標値になかなか達することが出来なかった。

受託サービスの年間目標金額が 32,400,000 円なのに対し、収入額は 30,091,390 円で、達成率は 92.9%となった。

来年度も利用者が吉祥園で安心して生活が出来るよう多職種で情報共有し、サービス内容の見極めをしながら支援していきたい。

数値目標に関しては、在宅サービス・受託サービスを合わせて目標金額が 43,800,000 円に対し、在宅：7,780,087 円、受託：30,091,390 円、計:37,871,477 円の収入を得た。

達成率にすると 86.5%という結果となる。

3－1　在宅サービスの運営状況

（1）利用者の要介護度（令和６年３月３１日現在）

	事業対象 要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	2	5	0	0	0	1	8
女	8	2	1	1	0	1	13
合計	10	7	1	1	0	2	21

（2）利用状況（介護区分別　回数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
身体介護	61	56	51	67	75	46	65	60	58	36	36	19	630
身体・生活	16	12	15	15	10	48	60	44	39	59	56	65	439
生活援助	59	50	57	54	54	44	38	34	28	0	0	0	418
訪問型独自	57	53	39	48	51	45	43	38	44	34	40	27	519

3－2　受託サービスの運営状況

（1）利用者の要介護度（令和７年３月３１日現在）

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	4	1	2	1	2	１０
女	0	7	5	6	1	1	２０
合計	0	１１	6	8	2	3	３０

（2）利用状況（介護区分別　回数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
身体 介護	1809	1767	1632	1916	1915	1893	2026	2130	2176	1897	1755	1926	22842
生活 援助	582	515	501	576	557	538	595	577	583	274	410	583	6291

4　利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（１）苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対　　応	

【11】小規模多機能型居宅介護事業所長寿庵

1　実践目標

1.　人材育成と業務効率化を進め、安定した事業運営を目指す。
2.　地域との連携・協働を推進し、地域に頼られ地域に貢献できる事業所。
3.　利用者・家族等の満足度調査
数値目標
稼働率（登録者）　　80%以上
月間収入目標　　６，３００，０００円以上
年間収入目標　　７５，７００，０００円以上

2　実践目標の達成状況及び成果

実践目標の「人材育成と業務の効率化を進め、安定した事業運営を目指す。」については、長寿庵会議の中でその都度、業務の見直しを行い効率化を進めることが出来た。また、人材育成に関しては年間計画を立て実施することが出来たが準備不足等があり今後の課題として検討が必要と思われる。安定した事業運営に関しては上半期は契約終了者に対して新規契約者が少なかったが下半期は新規契約者が増え登録者数でみる稼動率については昨年度の 67%に対して 72.5%と増加したものの 80%の目標に対して達成することが出来なかった。

実践目標の「地域との連携・協働を推進し、地域に頼られ地域に貢献できる事業所。」に関しては、2 か月に 1 回開催される運営推進会議で挙げられた課題について参加者それぞれの立場で意見を出し合いながら課題解決に取り組むことが出来た。又、今年度から参加した丸ごと相談委員から地元地域だけではなく他の地域の状況を聞くことが出来た。行事への参加や地区の総会へ参加、地域住民参加の防災訓練を開催することで、長寿庵の役割を知ってもらう事が出来たが、もっと広く住民の方々に、施設の特徴を知らせるための取り組みが不十分だった。

実践目標の「3.利用者・家族等の満足度調査」に関しては、日々の聞き取りは出来たが調査としては実施できなかった

数値目標に関しては、稼働率（登録者）80%以上に対し 72.5%、月間収入目標 6,300,000 円以上に対し 6,530,879 円、年間収入目標 75,700,000 円以上に対し、78,370,550 円と稼働率は達成できなかったが収入に関しては達成することが出来た。

3　運営状況

（１）月別登録者状況　（延べ人数）

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	述べ人数合　計
要支援１	1	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	9
要支援２	2	2	2	2	2	2	2	2	3	1	1	2	23
要介護１	6	5	6	6	6	4	4	4	6	7	5	6	65
要介護２	1	1	2	4	4	5	5	5	4	4	3	3	41

要介護３	7	7	6	6	5	5	5	5	6	7	9	9	77
要介護４	2	2	2	2	2	4	4	4	2	2	2	2	30
要介護５	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	12
合　計	20	18	19	21	20	22	22	22	22	24	22	22	

（２）月別利用状況　（サービス提供回数）

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均 合　計
通　所	199	187	171	210	179	192	199	171	157	126	174	171	2,136
訪　問	381	344	356	401	419	405	470	448	346	383	451	481	4,885
宿　泊	257	238	242	269	267	217	230	262	278	268	230	271	3,029

（３）月別新規受け入れ及び終了者の状況

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
登録件数	2	0	0	3	3	3	0	0	3	2	1	2	1.5
終了件数	2	1	0	1	2	0	0	0	3	1	2	2	1.2

（４）年齢構成　（令和７年３月 31 日現在 22 名）

区　分	59 以下	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	合　計
男	0	0	3	0	0	1	1	1	6
女	0	0	0	1	0	3	3	9	16

４　利用者の事故とその対応について（長寿庵拠点全体）

（１）事故発生状況（令和６年４月～令和７年３月）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
転倒・転落	1	1	2	4	4	0	3	5	0	0	1	0	21
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷・あざ	1	0	1	1	1	0	2	0	1	6	2	2	17
その他	0	0	0	2	0	0	4	2	0	2	1	3	14
合　計	2	1	4	8	5	1	9	7	1	8	5	5	56

（２）事故への対応

今年度、遠野市に報告する事故はありませんでした。転倒事故に関してはセンサーマットを使い転倒防止に努めているが、夜間の職員が一人しかいない時に他の利用者の介助に入っている時に多くみられる。その次に多く見られるのが衣類の返し間違いや手帳の入れ間違い等人的ミスによる事故が多くみられる。これらについては確認方法を検討し再発防止に努めている。

5　利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（1）苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対　　応	

6　「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

（1）身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

（2）高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7　施設・設備等の改善について（長寿庵拠点全体）

月　日	内　　容
4 月	公用車の入れ替え
4 月	給食食材の見直し
9 月	桜の木伐採
11 月	自動販売機設置
2 月	手洗い器水栓交換工事

8　行事実施状況

月　日	内　　容	参加人数
4 月 27 日	入部行列見学	13 名
4 月 29 日	菜の花ドライブ	7 名
5 月 12 日	新緑ドライブ	9 名
6 月 28 日	紫陽花見学ドライブ	9 名
9 月 21 日	とおの祭り見学	13 名
9 月 26 日	敬老会	17 名
10 月 26 日	紅葉ドライブ	9 名
12 月 25 日	クリスマス忘年会	8 名
1 月 7 日	初詣	7 名
1 月 15 日	みずき団子作り	15 名
2 月　3 日	節分・豆まき・恵方巻風おやつ作り	12 名
2 月 27.28 日	お雛様見学	14 名
3 月 4 日	ひな祭りお茶会	14 名

9　会議・研修実施状況（長寿庵拠点全体）

（1）　会議実施状況

会　議　内　容	回数
長寿庵会議	12 回
運営推進会議	6 回

（2）施設内研修実施状況

月　日	研　修　内　容	参加人数
5 月 29 日	認知症研修・リスクマネジメント研修（危険予知訓練）	11 名
6 月 28 日	認知症研修・リスクマネジメント研修（感染症研修）	11 名
7 月 29 日	リスクマネジメント研修（身体拘束・高齢者虐待）	8 名
8 月 26 日	外国人技能実習制度について	11 名
9 月 26 日	リスクマネジメント研修（感染症研修）・介護技術研修	11 名
10 月 28 日	介護技術（接遇研修）	10 名
12 月 17 日	リスクマネジメント研修（安全）	11 名
1 月 24 日	リスクマネジメント研修（安全）	9 名
2 月 26 日	リスクマネジメント研修（身体拘束）	9 名

（3）施設外研修

月　日	研　修　内　容	参加人数
5 月 10 日	経営改革推進会議	1 名
5 月 15 日	合同リスク会議	3 名
7 月 30 日	小規模多機能　事例研究会	1 名
8 月 21 日	合同リスク会議	2 名
9 月 4 日	小規模多機能研修会	2 名
11 月 1 日	地域密着型サービス事例発表会（東和）	2 名
11 月 12 日	小規模多機能実践報告会	3 名
11 月 25～26 日	小規模多機能サービス等計画作成担当者研修	1 名
1 月 9.10.20.21 日	介護支援専門員実務研修	1 名
1 月 16 日	法人合同研修（感染症）	4 名
1 月 17 日	介護職種の技能実習指導員講習	1 名
2 月 5～7.26～28 日	介護支援専門員実務研修	1 名
2 月 19 日	合同リスク会議	3 名

10　視察・研修受け入れ状況（長寿庵拠点全体）

月　日	所属又は氏名	内　容	人　数
月　日	なし		名

11　防災訓練等実施（長寿庵拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回　数
職員・利用者	総合訓練	日中・夜間想定避難訓練（火災想定）	3 回
職員		緊急連絡網訓練	1 回

12　ボランティアの状況（長寿庵拠点全体）

月　日	所属又は氏名	内　　容	人　数
7 月 5 日	遠野保育園	七夕訪問	15 名
9 月 21 日	遠野保育園	とおの祭り・踊り披露	15 名
10 月 31 日	遠野保育園	ハロウィン訪問	30 名

【12】法人事務部

1　実践目標

1.　経営支援
2.　事務の業務管理
3.　職場環境整備

2　実践目標の達成状況及び成果

運営会議にて、収支状況を報告している。前年同月比を示すことで、当年度の動きを把握することができた。設備・備品の不具合については、業者と連絡を取り合って修繕を行っている。また、緊急性の高い水漏れ修理や屋根の雪止め設置、エアコンの導入、入浴設備の更新を行うことで、利用者が快適に過ごせるように努めた。地震等の災害時に備えて、参集訓練を実施する。今年度は、遠野消防署のモデル事業所消防訓練研修先に選ばれ、遠野市内の事業所の模範となるような訓練を心がけて実施することができた。停電時の灯りと電力確保の対策として、防災タワーを購入する。その中には、蓄電池や充電ケーブル、ソーラーパネル、LED 投光器などが常備されている。

業務管理では、業務の見直しを行い、改善に努めた。ICT 導入を試み、情報収集は行ったが、費用対効果が見込めなかったため、ソフトの導入には至らなかった。それでも、各担当者が書類やデスク回りの整理整頓、電子申請等の業務効率化を実施する。次は、事務処理の集約化を図り、協力体制の整備と環境整備を行って業務のスリム化を目指す。窓口対応では、法人の顔として、挨拶や丁寧な言葉遣いを心がけた。苦情や要望等はなく、電話の取り次ぎや接客について、スムーズな対応ができている。

職場環境整備では、職員がワークライフバランスを達成できるような支援を行った。私生活や仕事を充実させるため、健康診断結果を受けて保健指導に繋げたり、健康アンケートを実施して分析結果を公表し、生活習慣の改善に繋げられるように促した。健康は自己管理が基本ではあるが、年齢が上がれば病気のリスクは高まるので、年齢にあった健康管理ができるようにフォローアップは必要だと感じる。また、腰痛等の労働災害やハラスメント、交通事故等の防止に努め、ポスターを作成して周知を行った。職員間のハラスメントや大きな交通事故の報告はなく、成果は出ていると感じる。ソウェルクラブは有効に活用されており、特典の利用や申請は行っている。遠野市の健幸ポイント事業は継続して参加しているが、ポイント条件の見直しによって退会する職員が増えており、運動する目的意識が薄れている。職員の心と体の健康を保つために、第三者機関の協力を得ながら、運動習慣に繋がる取り組みを考えていきたい。

【13】経営改革室

1　取り組み経過

月日	取り組み	成果物
5月10日	第1回（通算17回）経営改革会議 ・　経営改革前期の評価と効果検証 ・　経営改革後期の取り組みについて共有	人材確保と定着に重点的に取り組むことを共有
7月12日	第2回（通算18回）経営改革会議 ・　適正な人員配置を明確にする ・　人員の過不足状況の確認	法人独自の人員配置基準を共有
8月 19日～26日	社風アンケート調査の実施（オンライン）	
9月13日	第3回（通算19回）経営改革会議 ・　社風アンケートの結果フィードバック ・　人員計画の策定について	人材育成、社内風土に課題
10月31日	臨時経営改革会議 ・　上半期の財務状況について	下半期の経営方針を確認
1月10日	第4回（通算20回）経営改革会議 ・　人員計画の策定について	
1月	遠野長寿の郷生産性向上の効果検証アンケートの実施	ICT機器等の導入により業務の効率化、負担が軽減
3月7日	第5回（通算21回）経営改革会議 ・　人材確保・育成・定着の振り返り、評価 ・　ホームページの刷新について	

2　その他の取り組み経過

月日	取り組み内容	成果物
11月 16日～17日	遠野しごと展に出展 法人PR、求人活動	認知度向上、応募者増加

3　取り組みの成果

上記、取り組み経過にもあるように職員である「ヒト」にフォーカスして、採用・育成・定着のマネジメントの仕組みづくりを行った。人材マネジメントについて、法人にとって長年の課題であり、決算書には結果として表れにくいものであるため、後回しにしてきた経緯がある。その結果職員が育たず、離職につながり、じわじわと蓄積した人的資源やノウハウの損失を招いてきた。

そのため部署や個人任せの人材マネジメントではなく、組織として体系的、計画的に取り組むようことにシフトした。

採用については、まず各事業所の「運営の視点」と「財務の視点」で適正な人員体制を検討し、数値として明確にした。そのうえで、10年後を見据え、いつ、どのような人材を、どのように何

人採用するかを整理し「人員計画」を策定した。

育成については、昨年度策定した「人財育成基本方針」を実装させ、1on1 や個別研修計画を通じ、職員個々が将来のキャリアを描きながら成長できる取り組みを行った。また、新卒採用職員が安心して成長ができるように「新任職員育成プログラム」に沿って OJT を行った。

定着については、給与のベースアップの他に社風アンケートを実施し、目に見えにくい課題を共有した。

４　反省・課題

職員採用数が離職者数を上回り、職員超過で人件費が増え、人件費率が 63.69%と前年度と比較して 3.15 ポイント上昇した。一方で、来年度４月に再開予定のグループホーム長寿庵の職員を確保することができた。

「人材」にフォーカスした取り組みのため、すぐに何かしらの結果が出るものではないため、「生産性は上がったか」、「収益は増えたか」、「費用は減ったか」という視点で評価すると成果に乏しいと思われる。

次年度は、経営改革の原点に立ち返り、収益向上と人員の適正化のよる生産性向上を図っていきたいと思う。